

歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業

(26年度予算額 7,023百万円の内数)
27年度予定額 6,500百万円

＜事業内容＞ 歴史的に由緒ある史跡等について、整備中・整備後に地域の中でどう活かすか(『活用』)を念頭に置きつつ、来訪者目線で修復・復元等の整備を行い、地域の「たから」として、史跡等の価値の再発見・継続的な魅力発信につなげることにより、地域の活性化・アイデンティティの醸成を図り、地方創生に寄与する。

従来の取組み

○毀損した部分の修復が中心



○遺構保存に重点を置いた整備



整備に当たり、常に『活用』を意識！



新たな取組み

視覚的にアピール！

歴史的建造物の復元整備

☆地域のシンボルの創生



整備計画の策定に当たっては広く外部の意見を反映！

歴史を体感！

保存・修復整備

☆修復過程の公開
☆整備への住民参加



整備後の社会的・経済的効果を考慮！

歴史を学ぶ！

ガイダンス施設・案内板等の設置

☆来訪者の理解の向上
☆外国語表記など国際化に対応



効果

○史跡等の魅力を更にUPさせて、未来へ継承！

○史跡等を活かしたまちづくりにより地域の活性化を実現！